

附中だより



令和5年2月1日発行

文責；附属中 萩原喜成

新年を迎えて

令和5年がスタートして1カ月が経とうとしています。それぞれの人が新たな決意をして今年をスタートさせたことだと思います。

みなさんはどんな決意をしたで



しょうか。学校としては、何とかコロナに打ち勝って、コロナ前の日常を取り戻したいと願っています。実際にGW以降はインフルエンザと同じ扱いになるとのことでした。また、マスクの着用は、屋内・屋外ともに個人の判断に委ねる方向で考えているようです。しかし、感染対策の継続は求められる可能性が高いので、個人や学校で判断する必要があります。集団生活ですから、不安や不満を感じないような配慮が必要となります。

いずれにしても、今年が、皆さんにとっても附属中学校にとってもより充実して、飛躍する1年となるように、生徒・保護者・学校がまとまって教育活動を進めたいと思います。今年もよろしくお祈りします。

席がき大会

1月6日(金)には席がき大会を行いました。生徒は学年ごとに決められた文字を一生懸命書いていました。中には中学生とは思えない達筆の文字



を書いている生徒もいました。短時間で清書を完成させるためには、冬休みの練習が大事になります。

このことは、どんなことに対しても成り立ちます



ので、今年は、しっかりした計画と準備をすることで、落ち着いて本番を迎えられるようお互いに頑張りましょう。

AED研修会

緊急時の対応として、1月23日(月)に教職員を対象に心肺蘇生法とAED講習会を実施しました。

AEDは安全配慮の観点から学校にも設置されるようになりました。設置しても使用しないことが一番良いことです。しかし、必要になったときに、誰も使い方を知らないということでは設置した意味がありません。そんなことから、1年に1回は講師の先生を招いて研修をしています。



本来であれば、もっと早い時期にするべきで、今年も計画はしていましたが、コロナの感染拡大と時期が一致したためこの時期となりました。毎年研修を受け

ているので、理解しているつもりでいます。しかし、本当に目の前に人が倒れていたら練習どおりに動けるのか心配です。やはり、イメージトレーニングをしたり、繰り返し練習したりすることが大切です。

新生徒会役員 of 取組

下校放送などは、昨年末からバトンタッチして行っていたのですが、新年を迎え、新生徒会役員を中心とした取組がいよいよ本格化してきました。まずは、初めての生徒会行事である、「三年生に贈る会」に向けて活動がスタートしたのです。

1・2年生は、昼休みに学年発表の練習を行い、放課後は部門の活動をしています。お世話になった3年生に感謝の気持ちを伝えようと、限られた時間の中で、よりよいものを完成させようと頑張っています。部門の活動がなければ部活動も行っていますので、忙しい毎日を送っています。

3年生は、自分自身の進路に加え、卒業式の合唱練習と三贈会の学年発表練習をバランスよく実施しています。厳しい寒さの中、感染症対策をしながらの取組ですが、まとめに向けて充実した毎日です。